

日時：令和元年11月14日（木）13時30分～15時
場所：射水市役所201・202会議室
出席者：委員14名

1 議題及び会議の結果

(1) 「第2次射水市健康プラン」策定のためのアンケート結果について

① 市民向けアンケート

市民アンケート結果（対象者2000人中、有効回答1102件）について、健康に関する意識と生活習慣の現状について確認した。

Web調査の実施により、第1次アンケートよりも若年層の回答が増え、生活習慣の評価が悪く出ていると考えられるため、考慮した書き方を検討する。

② 健康づくりボランティア向けアンケート

健康づくりボランティアアンケート結果（対象者789人中、有効回答789件）について、健康に関する意識や健康日本21・健康増進プランの認知度、健康づくり対策について確認した。今後「社会環境の整備」について記入する際に、健康づくりボランティアの方々の力を評価指標とすることも考慮する。

(2) 第2次射水市健康増進プラン（素案）について（第1章～4章）

概念図の理念と基本目標を達成すべき3項目14分野における、現状の評価について確認した。健康寿命などの基本目標と疾病予防については、おおむね改善が見られたが、引き続き生活習慣改善対策を強化していく。

(3) 関係機関・団体の今後の取組について

目標又は目標指標に対する、関係機関・団体の取組内容と活動内容について確認した。

健康づくり推進協議会の構成団体に向けて、今後の取組や活動紹介、健康増進プラン（案）の訂正箇所及び内容等について、照会を依頼した。

(4) 第2次射水市健康増進プラン策定スケジュール（案）について

スケジュール案のとおり進めていく。

2 報告事項、協議事項及び会議資料

【審議事項】

(1) 「第2次射水市健康プラン」策定のためのアンケート結果について

①市民向けアンケート (資料1)

②健康づくりボランティア向けアンケート (資料2)

(2) 第2次射水市健康増進プラン（素案）について (資料3)

(3) 関係機関・団体の今後の取組みについて (資料4)

(4) 第2次射水市健康増進プラン策定スケジュール（案）について (資料5)

(5) その他

【資料】

- ・資料 1 「第2次射水市健康増進プラン」のためのアンケート（市民向け）結果について
- ・資料 2 「第2次射水市健康増進プラン」のためのアンケート（ボランティア向け）結果について
- ・資料 3 第2次射水市健康増進プラン（素案）について
- ・資料 4 健康づくりの推進に関する今後の取組みについて
- ・資料 5 第2次射水市健康増進プラン策定スケジュール（案）について
- ・参考資料 1 射水市健康づくり推進協議会委員名簿
- ・参考資料 2 射水市健康づくり推進協議会条例
- ・別紙 1 第2次射水市健康増進プラン（素案）の訂正箇所及び追加内容等について
- ・別紙 2 健康づくりの推進に関する今後の取組み（調査票）
- ・別紙 3 活動紹介（調査票）

3 会議内容

(1) 開会

- ・配付資料の確認等

(2) 会議成立報告

- ・委員16名に対し14名の出席があり、本会議が成立している事を報告

(3) 会長あいさつ

(4) 委員変更紹介

(5) 審議事項

- ・事務局より資料説明
- ・質疑応答

<質疑応答事項>

【会長】

COPDの認知度が低いようであるが、日本語訳を併記するべきではないか？

【事務局】

併記させていただく。

【会長】

資料4の「1生活習慣の発症予防と重症化予防」の「(1)がん」の目標指標が「生活習慣の改善によるがん予防の推進」となっているため、同様に「(2)糖尿病」の目標指標「糖

尿病予防の普及啓発」にも『生活習慣病の改善』をつけておくべきだろう。もし、「(1)がん」の目標指標を他項目と合わせるならば、「がんに関する正しい知識の普及啓発によるがん予防の推進」とした方が良いのではないか。

また、この素案は、市民にも配布されるのか。どのような形で資料が使われるのか教えてほしい。

【事務局】

資料4の記載については、検討する。

市民への周知に関しては、プランの概要版を作成し様々な場面で活用していきたいと考えている。また、プランの本編についてはホームページに掲載する予定にしている。

【会長】

市民向けの概要版を作成するに当たり、写真を掲載する等、各団体の取組みが分かるような配慮が必要。また、市民やボランティアを対象に実施したアンケート調査の結果も内容に盛り込むべき。

【委員】

素案のヘルスプロモーションの表記について、難しく分かりづらい。分かりやすい表現で今後市が実施していく方向性や、市民個人での自助努力も必要という点についても、盛り込んだ方が良いのではないか。

【事務局】

ヘルスプロモーションの表記について、第1次の増進プランでは図も加えて説明していた。今回も分かりやすいように、表記方法を工夫する。

【委員】

第1次計画の評価について感想を述べる。

健康増進プランは基本的に健康寿命の延伸をゴールとしているため、健康寿命の伸びが目標に達したかが分かるように、丁寧に書いていくことが大事。健康寿命とは、自立している期間の平均のことであり、自立していないと判断するのは、要介護度2の認定を受けた時点であることも、記載すると良いだろう。

もう1点大事なものは、平均寿命を上回る健康寿命の伸びである。射水市の男性の健康寿命は、中間評価の78.57歳から現状値の79.13まで、0.56歳延伸している。健康寿命が平均寿命の伸びを超えるということが重要という視点で見ると、男性の平均寿命の現状値は中間評価から0.49歳延伸しているのに対して、健康寿命が平均寿命を上回っている。そこをきっちりと評価されていくのが大事だろう。現在、他市町村では概ね、平均寿命も健康寿命も伸びてはいるものの、平均寿命の伸びを上回る

健康寿命の伸び率を達成できていないところが多い。

射水市はその点が素晴らしいので、この部分を強調された方が良くはないかと思う。

また、疾病による死亡比、要介護度、自殺の数値は、市民全体のゆるぎない数字であり、その中で、がん、循環器疾患、自殺が確実に減少している点は、素晴らしいと思う。

こんなに良い結果が出ているのに、なぜ、生活習慣の数値が悪いのだろうか。極論、生活習慣が悪くても、良い結果が出るのであれば生活習慣はどうでもいい話になってしまう。この評価は、アンケートによる集計結果を根拠としていることを明記しないと誤解を招く危険がある。

アンケート調査の概要を見ると、web 調査もあるため、第1次計画のアンケートよりも、回答者に若年層が多いのではないかとと思われる。

第1次のアンケートの時は郵送法で、高齢者の方が多く回答されたと思うが、今回のアンケートは、若い年代の回答率が高い。やはり高齢者と若年者を比較すると、若年者の生活習慣は悪い傾向にあり、結果、悪い方に引っ張られているように思う。アンケート調査に限界はあるが、その事も考慮したうえで検討してほしい。

ただ、結果が非常に良くなっているのは、委員の皆様方の日々のご努力の賜物ではないかと思う。資料4で多くの施策が出ていたが、今後の取組みを丁寧に、踏襲して頑張っていたら、素晴らしいのではないかと思う。

また、資料2のボランティアアンケートが興味深く、「あなたの地区の健康づくり対策として、必要なことは何だと思えますか」という設問について、健康づくりボランティア各々が、地区の問題を見据えて活動しているならば素晴らしいと思う。

計画素案の「社会環境の整備」は今後の検討事項ではあるが、健康づくりボランティアでも、「健康日本21」や「健康増進プラン」は知らない方も多い為、現実的な課題として、健康づくりボランティアを中心に今後ますます発信できるようなものが、ヘルスプロモーションの環境整備としても重要だと思われる。

【会 長】

ボランティアアンケートの「健康づくり活動をする上で当てはまる内容」について、「仲間とのつながり」や「学習により新たな知識や知見が得られる」という回答が多いことから、もともと健康に興味ある方が参加しているという事と、ボランティア活動を楽しく行うことで仲間との付合いを広めるところを発端に、地域に根差していく何かが生まれていくのだろうと思う。

【委 員】

基本的な部分を問う。

県の増進計画や市の増進プランが第1次計画の時には、計画の体系図において、生活習慣改善を行い、それを継続することが疾病予防や生活習慣病予防につながる、といった論理的な書き方であったが、第2次は、基本的方向性が1、2、3と並列となっている。

第2次計画は、相加的ではなく、3つの方向性を同じレベルで展開していくと考えてよろしいか。

【事務局】

第1次計画では、それぞれの方向性から矢印を引き、どの方向性がどれを押し上げていくのかを示していた。

第2次計画は、3つの基本的方向性を総合的に実施して、健康寿命の延伸を押し上げたいと考えている。

【委員】

がんの受診率を出すときには、職域検診を含めた受診率にしないと海外と比べた時に、日本の受診率がとても低率になる。記載の受診率は職域健診のデータを除いていると思われるが、できれば企業で実施したデータを含めた値で計算することが望ましい。受診率が50%を超えると、がんの死亡率が低減化されるというエビデンスもある。

また、アメリカ等では保健師が、家庭訪問し、検診へ行くよう促していると聞いたことがある。そういったことも行っていけば、受診率は上がるのではないか。

【会長】

この素案自体は、国の「健康日本21」、県の「富山県健康増進計画」を基に事務局が作成しており、大きな数字としては相違ないと考えてよいと思う。

また、本日出た意見についてはすぐに改善できることではないが、事務局に一任し、できるところから実行に移してもらおうということで、よろしいか。

【事務局】

職域をプラスした受診率を出すのは現状では難しいが、市民アンケート（資料1・P33～34）には、がん検診の受診状況についての設問を設けており、回答者は市の検診対象者だけでなく、職場検診者も含まれている。アンケートでの受診状況は50.6%となっており、国の目指している50%以上には近づいているのではないかと考えている。

【会長】

ただ、アンケートは、2,000人に送付し1,000人が回答したものであり、その中の50%である。残りの1,000人はアンケートに返信するほど、健康増進や健康づくりに興味がないということ。評価としては難しいが、この場で共有した情報として、数字を読み解いていくことが大切。

届かない相手にどう届けていくのが課題だろう。

【事務局】

了承。

【会 長】

以上で終了。

(6) 閉会